

大豆しんぶん

100ぶ

NPO 法人 大豆 100 粒運動を支える会

会長 辰巳芳子

事務局 〒248-0013 神奈川県鎌倉市材木座 1-12-25

齋藤 彰方 FAX 0467-23-8308

みなさん、今年大豆の出来はいかがですか。各地から嬉しい報告が届いています。一方で日本の農業の激変につながる法律の改定も。日本の食と農、未来のために、共に考え、できることから始めましょう。



ひとりずつ大豆の種をもらってまきます。どの子も豆に触り、土に触ると元気に声をあげます



都心ではあまり見かけなくなったヒキガエルも大豆の葉っぱの陰に。大豆づくりを通して、自然の生態系、さまざまな生き物の姿を、体験的に、総合的に学んでいきます



自分たちが手足を使って学んだことを体系的に学ぶ授業。教室では、活発に手が挙がります



手づくり豆腐に興味津々の子どもたち

神奈川県川崎市に住みながら、隣の千葉県木更津市に田んぼと畑を借りて、都市に暮らす親子に農業体験や自然体験を提供する環境教育事務所「くすのき自然クラブ」を運営しています。学生時代からの「大豆を育ててみたい」という夢を叶えたのが10年前、たくさんの人に大豆のことを知ってもらいたいと活動してきました。

日本人にとって、大豆はならないソウルフード。火を通して手を加え、発酵させ、手を変え品を変え、大豆を食べてきた私たちの祖先のあくなき探究心に脱帽です。これだけ手間ひまをかけて祖先が食べてきた大豆の素晴らしい姿を伝えるべく、豆腐作りや味噌作りのワークショップを開催。より確かな知識を得るために味噌ソムリエ・豆腐マイスター・おから味噌インストラクターになりました。

4年前から息子が通う小学校で3年生と大豆100運動に参加し、ゲストティーチャーとして、大豆蒔き・枝豆試食・大豆収穫・豆腐とおからサラダ作成という通年授業をおこなっています。豆腐作り授業の時には、調理補助として保護者の皆さんにボランティア参加をお願いしています。子どもたちに大豆を育てて食べる楽しさを伝えると同時に、保護者に「豆腐が自宅で作れる！できたておからはこんなにおいしい！」と体感してもらえらる場にもなっています。

この授業をきっかけに、他校へ出向いたり、PTAでの味噌仕込み講座も恒例となりました。乾燥大豆を台所に常備している家庭が少ない今、食卓に大豆製品が増えるきっかけになるように願いながら活動を続けています。

大豆の花の言葉は「無限の可能性」「必ずおとすれる幸せ」。大豆を蒔いて最初に出てくる子葉の可愛らしさを愛で、草取り土寄せをしながら咲く花に花言葉を唱え、枝豆に舌鼓を打ち、乾いた大豆に感謝しながら脱穀をします。

カメムシやマメハンミョウなど来てほしくない虫もやってきますが、校庭でヒキガエルに出会えたり、シジミチョウが花の蜜を吸いに来たり。川崎で生まれ育った子たちは土にも生き物にも慣れていないので、さまざまな生き物をいやがるのではなく「人間より先に地球に存在していた大先輩方」として敬意を示すようにも伝えていきます。大豆の授業を、自然観察の場・総合的な学習につなげていきます。

これからも、たくさんの機会を生かしながら「大豆愛」を広めていきます。

（くすのき自然クラブ 吹留純子）

校庭にヒキガエル！大豆の授業を自然観察の場に

大豆の素晴らしい姿を伝えるために神奈川県川崎市で活発に活動している会員の方からの報告です。